



公立大学法人 大阪
University Public Corporation Osaka

令和7年（2025年）9月17日



勝亦丸山
建築計画



独立行政法人都市再生機構

公立大学法人大阪

株式会社URリンクージ

株式会社ロフトワーク

株式会社勝亦丸山建築計画

株式会社オンデザインパートナーズ

大和工業株式会社

暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」がオープン

10月1日（水） オープニングセレモニーを開催します

令和7年10月1日（水）独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）と公立大学法人大阪（以下「大阪公立大学」）が連携し、大阪市城東区に位置するUR森之宮ビル（UR都市機構旧西日本支社）の1階を活用し、暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」をオープンします。

なお、UR都市機構は「ほとりで」の運営にあたり、株式会社URリンクージ・株式会社ロフトワーク・株式会社勝亦丸山建築計画・株式会社オンデザインパートナーズおよび大和工業株式会社の共同企業体（以下「パートナー事業者」）と「まちづくりに資するUR森之宮ビル活用事業におけるパートナー協定」を締結しています。

「ほとりで」が位置する大阪城東部地区では、大阪府・大阪市による「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」および大阪市による「大阪城公園周辺地域まちづくり方針」の実現に向けてまちづくりが進められています。令和7年9月24日（水）に開設される大阪公立大学の森之宮キャンパスをはじめ、今後予定されているOsaka Metroの新駅開設や周辺開発など、これからまちが大きく変化しようとしています。「ほとりで」は、暮らしと学びに関する多様な活動ができる実験フィールドとして、まちに住まう方や、新たに集う大学生、周辺で働く方々などまちに関わる人々の“やりたい”という想いを受け入れ、“やってみた”へと育みます。

オープンを記念して、10月1日（水）15時00分から「ほとりで」にてオープニングセレモニーを開催いたします。ご多忙の中誠に恐縮ですが、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。



UR 森之宮ビルの外観



「ほとりで」のロゴマーク

＜本件に関するお問い合わせ先＞

UR都市機構	西日本支社	総務部	総務課	表田	TEL：06-4799-1231
UR都市機構	西日本支社	都市再生業務部		中野	TEL：06-4799-1172
公立大学法人大阪	本部事務機構	企画部企画戦略課		山下・山崎	TEL：06-6967-1847

「ほとりで」オープニングセレモニーのお知らせ

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）と公立大学法人大阪（以下「大阪公立大学」）は、大阪市城東区に位置するUR森之宮ビル（UR都市機構旧西日本支社）の1階を活用し、暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」を10月1日（水）にオープンいたします。オープンを記念して、同日15時00分から「ほとりで」においてオープニングセレモニーを実施いたします。

なお、UR都市機構は「ほとりで」の運営にあたり、株式会社URリンケージ・株式会社ロフトワーク・株式会社勝亦丸山建築計画・株式会社オンデザインパートナーズおよび大和工業株式会社の共同企業体（以下「パートナー事業者」）と「まちづくりに資するUR森之宮ビル活用事業におけるパートナー協定」を締結しています。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、何卒ご取材賜りますようお願い申し上げます。

【「ほとりで」オープニングセレモニー概要】

主催：UR都市機構・大阪公立大学

開催日時：令和7年10月1日（水）15:00～17:00（予定）

開催場所：UR森之宮ビル1階 ほとりで（大阪市城東区森之宮1-6-85）

出席者：公立大学法人大阪 理事長 福島 伸一（ふくしま しんいち）

独立行政法人都市再生機構 理事・西日本支社長 高原 功（たかはら おさむ）

大阪都市計画局 技監 西江 誠（にしえ まこと）

株式会社URリンケージ 西日本支社長 太田 潤（おおた じゅん）

スケジュール：15:00～西側入口の除幕

15:30～南側入口の開場

15:45～施設概要説明・ご挨拶等

16:15～企画実施（自由内覧）

※16:15より、以下3つの企画を実施予定です。

大阪公立大学 Well-being 共創研究センターによる「ポッチャ体験会」

大阪公立大学ボランティア・市民活動センター（V-station）による企画

医療法人大道会による連携プログラムセミナー「SAC 安否確認システムのその後」

取材申込：9月24日（水）17時までに、次頁の申込書にてお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

アクセス：JR 大阪環状線森ノ宮駅・大阪メトロ森ノ宮駅より徒歩5分

10月1日（水）「ほとりで」オープニングセレモニー申込用紙

※9月24日（水）17時までに以下FAX番号宛に送信ください。

FAX：06-4799-1040

【UR都市機構 西日本支社 広報 宛】

貴社名	
ご所属名	
ご担当者名 /代表者名（人数）	
ご連絡先	TEL：
	携帯電話：
	メールアドレス：

※ご記入いただきました個人情報は、本セレモニー関連の管理・連絡のみに利用いたします。

※当日10月1日（水）については、14時45分から15時00分までに「ほとりで」（UR森之宮ビル1階）にて受付をお願いいたします。

※当日の取材・撮影はセキュリティおよびスペースの都合上、人数を制限いたします。先着順での受付とし、予定人数を超えるお申込みの場合は、お断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。

暮らしと学びの実験フィールド「ほとりで」の概要

所在地：大阪市城東区森之宮 1-6-85 UR森之宮ビル 1階

アクセス：JR大阪環状線森ノ宮駅・大阪メトロ森ノ宮駅より徒歩5分

開館日：9:00～17:00（火～金）※土日祝はイベント等の利用希望に応じて開館

運営：UR都市機構と大阪公立大学が連携

（施設管理人、コミュニティマネージャー等スタッフが常駐）



【「ほとりで」が目指すもの】

「ほとりで」は、暮らしと学びに関する多様な活動ができる実験フィールドとして、まちに住まう方や、新たに集う大学生、周辺で働く方々などまちに関わる人々の“やりたい”という想いを受け入れ、“やってみた”へと育みます。コミュニティマネージャーが訪れた人々の想いを汲み、活動をサポートします。「ほとりで」のロゴマークは、自由に豊かな変化を受け入れる余白を持ちつづけ、このまちと人、あらゆる種の営みとともにゆるやかに息づいていく様子を表現しています。

「ほとりで」で“やってみた”活動がまちに関わる人々の暮らしのイノベーションとなり、“変えようと思えば、まちを変えられる”という実感を得て、地域への愛着が湧き、一人ひとりの暮らしがより豊かになっていくことを目指します。



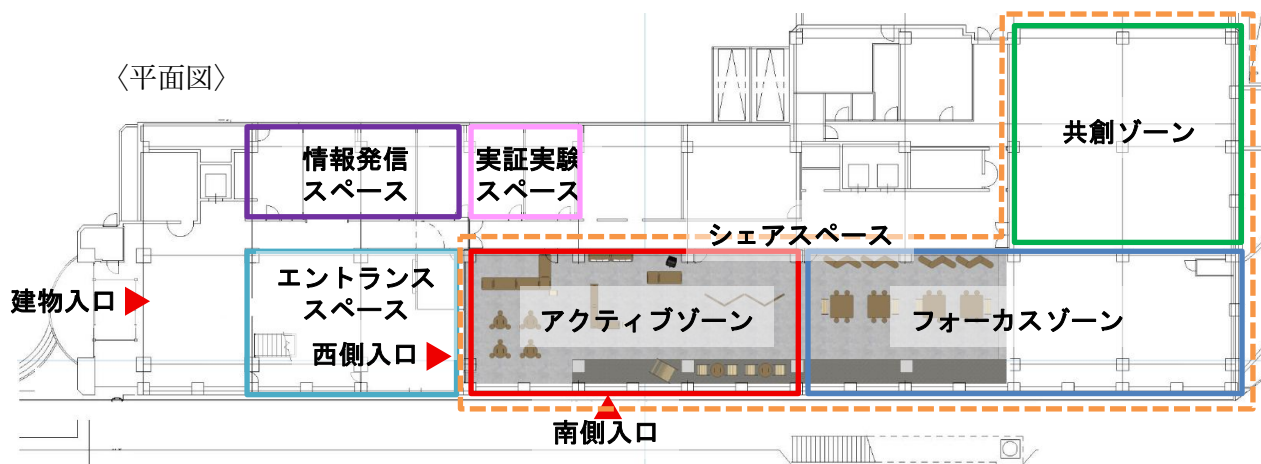
UR 森之宮ビルの外観



「ほとりで」のロゴマーク

【「ほとりで」の主な機能】

「ほとりで」は、まちに関わる多くの人々にご利用いただける暮らしと学びの実験フィールドとして、以下の機能を設けています。



アクティブゾーンの空間イメージ



共創ゾーン

○アクティブゾーン

まちに関わる人々の“やりたい”をサポートするシェアスペース。什器に工具不要で簡単に組立て・解体が可能な「プレイスメイキングキット」を配置し、交流・情報発信・チャレンジショップ・飲食等のアクティブな利用が可能。

○フォーカスゾーン

会議・セミナー・ワークショップ・集中した作業等のためのシェアスペースであり、予約することで占有利用（有償）が可能。

○共創ゾーン

大阪公立大学とともに、創造的な研究や社会実装に向けた取り組みを支援するためのシェアスペース。創造的な発想を促すリラックスできる什器がそろっており、様々な会議やワークショップに対応。

○エントランススペース

ロビー空間として人を出迎える他、情報発信や高さのある空間を活かした様々なプログラムの場としても活用。

○情報発信スペース

訪れた人に向けた情報発信スペース。当初期間では、かつてUR都市機構旧西日本支社であった歴史も踏まえ、UR都市機構に関するパネルを展示。

○実証実験スペース

様々な研究を社会に還元するために実証実験を行うためのスペース。

【UR都市機構と大阪公立大学によるほとりでの活用に係る取り組み】

UR都市機構と大阪公立大学は、「“ほとりで” を活用した取り組みに関する実施協定」（令和7年9月締結）に基づき、下記の取り組みを実施します。

○大阪公立大学 Well-being 共創研究センターの活動における協働

大阪公立大学がUR森之宮ビル2階に設置した拠点。地域住民等に対する健康促進プログラムやメンタルヘルスサポート、地域コミュニティ構築支援等の提供活動等を実施。UR都市機構と大阪公立大学は適宜連携し、お互いの活動プログラムの共有、地域関係者との連携、活動場所の提供等を行う。

○森之宮ウィズネイチャーラボの活動における協働

UR都市機構と大阪公立大学が構築する、持続可能な都市づくりを支援することを目的とした Nature-based Solutions（自然に基づく解決策）を推進する官民共同プラットフォーム。都市と自然へのリテラシー向上に資する学習機会の提供や人材育成、ネットワーク構築、将来の環境・経済・社会のビジョン検討およびシンクタンク機能に係る研究・実証、地域への展開を実施する。

○大阪公立大学ボランティア・市民活動センター(V-station)の活動における協働

社会課題解決に取り組む学生や地域住民らによるボランティアイベントや社会貢献のプログラムを推進する大阪公立大学の組織。UR都市機構と大阪公立大学は適宜連携し、「ほとりで」での V-station の活動場所提供、V-station による「ほとりで」の活動・運営の支援等の連携を行う。

【「ほとりで」での社会・地域課題の解決に向けたプログラム】

「ほとりで」では、大阪城東部地区全体のまちづくりの展開を踏まえ、社会・地域課題の解決に向けたプログラムを定期的実施していきます。

これまでも、世界からの外部視点で大阪城東部地区を再評価するためタイでのサステナブルなまちづくりに向けた動機のデザインを学ぶセッション (https://loftwork.com/jp/project/20240729_ur_osakajotobu_session) や、文化・都市・科学・デザインの4つの視点から大阪城東部地区の多面性を掘り下げるフィールドワーク (https://loftwork.com/jp/project/20250718_ur_osakajotobu_session3) などのプログラムを実施してきました。

このまちには自然、歴史、学び、福祉、健康医療等の地域資源が多く集積しています。「ほとりで」を訪れた人々が「ほとりで」でのプログラムを通じてまちの地域資源を再認識し、「ほとりで」での活動がこのまちならではの独自性と意味性を持った社会・地域活動の解決の糸口となることを目指します。



過去に実施したプログラムの様子

【「ほとりで」の空間設計】

「ほとりで」を訪れた人々の“やりたい”という想いを芽吹かせる仕掛けを空間設計に落とし込みました。誰もが気軽に立寄り、自由に利用できるフィールドを目指し、重要な生活動線である中央大通り側に新たに南側入口を設けました。什器には、工具不要で簡単に組立て・解体が可能なプレイスメイキングキットを採用しました。欲しい場所や出来事を、創意工夫により誰もが実現できる環境となっています。

「ほとりで」は、オープン後の運営、活用の中で得られたフィードバックを基に、段階的に空間更新をしていきます。まちの成長とともにフィールドの成長を重ねて考える計画としています。



テーブル型プレイスメイキングキットの活用

【「ほとりで」の運営体制】

「ほとりで」の運営にあたり、以下のパートナー事業者と「まちづくりに資するUR森之宮ビル活用事業におけるパートナー協定」を締結しています。

○株式会社URリンケージ：全体統括・まちづくり展開方策の検討・拠点管理運営

URリンケージは、まちづくりに関する様々な業務を通じて培ったノウハウでソリューションをご提案する、総合的まちづくり・すまいづくり支援企業。日本の“まち・すまい”に関する課題に対し、お客様と共に向かい合います。

〈株式会社URリンケージ公式サイト〉 <https://www.ur lk.co.jp/>

○株式会社ロフトワーク：社会・地域課題の解決に向けたプログラムの企画および実施

ロフトワークは「すべての人のうちにある創造性を信じる」を合言葉に、クリエイターや企業、地域やアカデミアの人々との共創を通じて、未来の価値を作り出すクリエイティブカンパニーです。ものづくりを起点に、その土地ならではの資源やテクノロジーを更新する「FabCafe（ファブカフェ）」、素材と技術開発領域でのイノベーションを目指す「MTRL（マテリアル）」、クリエイターと企業の共創プラットフォーム「AWRD（アワード）」などを運営。目先の利益だけにとらわれず、長い視点で人と企業と社会に向きあい、社会的価値を生み出し続けるビジネスエコシステムを構築します。

〈株式会社ロフトワーク公式サイト〉 <https://loftwork.com/jp/about>

○株式会社勝亦丸山建築計画：内装、外構等の空間設計・実施設計

空間の使い手と持続可能性を生み出し、新しいスタンダードを社会に実装することを目指す建築家チーム。「その場所や前提の条件を探り (RESEACH)、そこに何が必要かを考え (DESIGN)、現場での実践を還元させる (OPERATION)」ことを指針とする。建築やインテリア、リノベーションの設計・監理を中心に、「デザインオペレーション」の手法を用いて事業の企画から運営まで行うほか、行政・民間の双方と連携しながらリサーチ、コンサルティング

グ、プロダクト開発など多岐にわたる活動を行っています。

＜株式会社勝亦丸山建築計画公式サイト＞ <http://katsumaru-arc.com/>

○株式会社オンデザインパートナーズ：内装、外構等の空間設計・実施設計

横浜馬車道に拠点を置く設計事務所。「ひと」も「まち」も、建築に関わるすべてをフラットに考えることを大切にしながら、スタッフやクライアントとの対話を通してプロジェクト固有の言語や価値を見出し、デザインとして具体化。住宅設計をはじめ、公共施設、まちづくり、拠点運営、家具デザインなど幅広い領域に取り組む。ケンチュクとカルチャーを言語化するメディア『BEYOND ARCHITECTURE』(<http://beyondarchitecture.jp/>)、自社オフィスをまちにひらく実験場『オンデザインイッカイ』を展開。新潟・大阪・福岡・佐賀・千葉に支店を持つ。

＜株式会社オンデザインパートナーズ公式サイト＞ <http://www.ondesign.co.jp/>

○大和工業株式会社：内装、外構等の改修整備

「お客様の喜ぶ笑顔を大切に」をコンセプトに我々は元気で明るい街づくりの為に創意工夫しお客様とともに快適な空間を創造します。UR賃貸住宅の小規模保全業務を核としながら、マンション大規模修繕事業や商業施設の改修事業等の民間修繕や個人住宅のリフォーム事業、住宅新築工事に至るまで幅広く業務展開しており、高水準の技術と品質管理能力を追求し続けることで「暮らしのスペシャリスト」を目指しています。

＜大和工業株式会社公式サイト＞ <https://www.daiwakogyo.net/>

■公立大学法人大阪

公立大学法人大阪は、大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪公立大学工業高等専門学校を設置・運営する地方独立行政法人です。質の高い教育研究を通じて、グローバルに活躍する人材を育成すると共に、イノベーション創出や都市・社会課題の解決による大阪・日本・世界への貢献を目指しています。

＜公立大学法人大阪公式サイト＞

<https://www.upc-osaka.ac.jp/>

■UR都市機構

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

＜UR都市機構公式サイト＞

<https://www.ur-net.go.jp/>

